

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 17 日 (2006.8.17)

【公表番号】特表 2005-534219 (P2005-534219A)
 【公表日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-044
 【出願番号】特願 2004-522613 (P2004-522613)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

H 0 4 L 7/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/56 2 3 0 A

H 0 4 L 7/00 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 7 月 3 日 (2006.7.3)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

データパケットの送信時にクロックタイムから得られるタイムスタンプを使用し、送信タイムスタンプを生じることによりデータパケット上のジッタが補正される方法において、前記ジッタが、前記送信タイムスタンプと生成された受信タイムスタンプとの間の比較に基づいて補正され、前記送信タイムスタンプが、アイソクロナス・プロトコル型データパケットにおける初めのパケットとしてプログラムクロックリファレンス (PCR) パケットに含まれ、前記受信タイムスタンプが、前記送信タイムスタンプが得られたのと同じクロックタイムから得られることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記データパケットが、1 つ又は複数のトランスポート・ストリーム・パケットを含むアイソクロナス・プロトコル・パケットであることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

追加のジッタ補正機構が、前記アイソクロナス・プロトコル・パケットに存在する前記トランスポート・ストリーム・パケットに適用されることを特徴とする、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記トランスポート・ストリーム・パケットのうち少なくとも幾つかが、前記追加のジッタ補正機構内の位相同期ループを駆動する関連するタイムスタンプを有することを特徴とする、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記関連するタイムスタンプが、前記データパケットの前記送信タイムスタンプと前記生成された受信タイムスタンプとの間の前記比較に依存することを特徴とする、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記トランスポート・ストリームが可変ビットレートを持つことを特徴とする、請求項 2 乃至 5 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 7】

前記トランスポート・ストリームがパーシャル・トランスポート・ストリームであることを特徴とする、請求項 2 乃至 6 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 8】

伝送媒体を介して相互に結合されたトランスミッタ及びレシーバを有する伝送システムであって、前記トランスミッタが、トランスミッタ・ウォールクロックと、前記トランスミッタ・ウォールクロックに結合され、前記レシーバに対する送信時に前記データパケットにタイムスタンプを付与する送信タイムスタンピング手段とを有する当該伝送システムにおいて、前記レシーバが、前記トランスミッタ・ウォールクロックと同様なレシーバ・ウォールクロックと、前記レシーバ・ウォールクロックに結合され、前記データパケットの受信時にタイムスタンプを生成する受信タイムスタンピング手段と、前記受信タイムスタンピング手段に結合され、前記データパケット上のジッタを補正するジッタ補正手段とを有し、前記送信タイムスタンプが、アイソクロナス・プロトコル型データパケットにおける初めのパケットとしてプログラムクロックリファレンス (P C R) パケットに含まれることを特徴とする伝送システム。

【請求項 9】

前記データパケットが、1 つ又は複数のトランスポート・ストリーム・パケットを含むアイソクロナス・プロトコル・パケットであることを特徴とする、請求項 8 に記載の伝送システム。

【請求項 10】

前記伝送システムが、前記ジッタ補正手段に結合されたトランスポート・ストリーム・ジッタ補正手段を有することを特徴とする、請求項 8 又は 9 に記載の伝送システム。

【請求項 11】

前記トランスポート・ストリーム・ジッタ補正手段が位相同期ループ又はカウンタを含むことを特徴とする、請求項 10 に記載の伝送システム。

【請求項 12】

前記トランスポート・ストリームが可変ビットレートを持つことを特徴とする、請求項 9 乃至 10 の何れか一項に記載の伝送システム。

【請求項 13】

前記トランスポート・ストリームがパーシャル・トランスポート・ストリームであることを特徴とする、請求項 9 乃至 12 の何れか一項に記載の伝送システム。

【請求項 14】

伝送媒体を介して相互に結合されたトランスミッタ及びレシーバを有する請求項 8 乃至 13 の何れか一項に記載の伝送システムであって、前記トランスミッタが、トランスミッタ・ウォールクロックと、前記トランスミッタ・ウォールクロックに結合され、前記レシーバに対する送信時にデータパケットにタイムスタンプを付与する送信タイムスタンピング手段とを有する当該伝送システムにおいて、前記レシーバが、前記トランスミッタ・ウォールクロックと同様なレシーバ・ウォールクロックと、前記レシーバ・ウォールクロックと結合され、前記データパケットの受信時にタイムスタンプを生成する受信タイムスタンピング手段と、前記受信タイムスタンピング手段に結合され、前記データパケット上のジッタを補正するジッタ補正手段を有し、前記送信タイムスタンプが、アイソクロナス・プロトコル型データパケットにおける初めのパケットとしてプログラムクロックリファレンス (P C R) パケットに含まれることを特徴とする当該伝送システム内での応用に適したトランスミッタ。

【請求項 15】

伝送媒体を介して相互に結合されたトランスミッタ及びレシーバを有する請求項 8 乃至 13 の何れか一項に記載の伝送システムであって、前記トランスミッタが、トランスミッタ・ウォールクロックと、前記トランスミッタ・ウォールクロックに結合され、前記レシーバに対する送信時にデータパケットにタイムスタンプを付与する送信タイムスタンピング手段とを有する当該伝送システムにおいて、前記レシーバが、前記トランスミッタ・ウ

ウォールクロックと同様なレシーバ・ウォールクロックと、前記レシーバ・ウォールクロックと結合され、前記データパケットの受信時にタイムスタンプを生成する受信タイムスタンプング手段と、前記受信タイムスタンプング手段に結合され、前記データパケット上のジッタを補正するジッタ補正手段を有し、前記送信タイムスタンプが、アイソクロナス・プロトコル型データパケットにおける初めのパケットとしてプログラムクロックリファレンス（PCR）パケットに含まれることを特徴とする当該伝送システム内での応用に適したレシーバ。